

# 校長室だより

柏原市立堅上小学校  
令和5年度 第12号  
令和5年11月 24日

## 【全校あそび(11/21)】

今期、一番冷え込んだ11月21日の朝。私が出勤する時には青谷の道端の温度表示が3℃を示していました。

そのような朝、児童会が内容やルールを考えて実施してくれた全校あそびは『サバイバル だるまさんがころんだ』。

児童会長・山口さんの「だるまさんがころんだ」のかけ声で全校児童が少しずつ前進していきます。詳しいルールは省きますが、審判に「アウト」と言われた人にも再チャレンジが可能という温かいルールはよく考えられていました。みんな笑顔で楽しんだ朝の時間でした。

見事に上位になった人は、次の人たちでした。

1位 3年・巳波さん 2位 梶本 み さん 3位 辻野 む さん  
おめでとうございました！

## 【6年生 森林体験 (11/22)】

小学校校門から府道をはさんだ山の中で、午前中に森林体験

を行いました。この体験活動を行うために、柏原市の社会

教育課(担当は本校に勤務しておられた川畑先生)・

産業振興課のみなさん・大阪教育大学の先生および

学生ボランティアなどたくさんの人の協力を

いただいています。児童が山の中に入りやすいように、



今年<sup>ことし</sup>の猛暑<sup>もうしょ</sup>の中で早くから道<sup>みち</sup>を切り開き<sup>ひら</sup>き、階段<sup>かいだん</sup>を作るなどの準備<sup>じゆんび</sup>をしていただいたの<sup>ほんばん</sup>本番<sup>ほんばん</sup>です。

子どもたちへのミッションは、赤団<sup>あかだん</sup>・青団<sup>あおだん</sup>・黄団<sup>きだん</sup>の3つに分かれて、それぞれが1本のヒノキを伐採<sup>ばっさい</sup>するというものです。

指導者<sup>しどうしゃ</sup>の説明<sup>せつめい</sup>を聞きながら、倒<sup>たお</sup>したい方向<sup>ほうこう</sup>を決めて木の下部<sup>き</sup>に切り込み<sup>かぶ</sup>を入れ、ロープ<sup>き</sup>をかけて引き倒<sup>ひ</sup>します。文<sup>ぶん</sup>で書くのは簡単<sup>かんたん</sup>ですが、ふだん使<sup>つか</sup>わないのこぎり<sup>つか</sup>を使ってする作業<sup>さぎょう</sup>はなかなか

大変<sup>たいへん</sup>です。順番<sup>じゆんばん</sup>に変わ<sup>か</sup>りながら、すべての団<sup>だん</sup>が伐採<sup>ばっさい</sup>に成功<sup>せいこう</sup>！その後<sup>ご</sup>、木の長さ<sup>ながさ</sup>をはかり、いくつかのブロック<sup>き</sup>に切り分<sup>わ</sup>けて年輪<sup>ねんりん</sup>を数<sup>かず</sup>えたりしました。周囲<sup>しゅうい</sup>に

ヒノキの良<sup>よ</sup>い香り<sup>かお</sup>がただよいましたね。

この林<sup>はやし</sup>の中<sup>なか</sup>をもう少し整備<sup>すこ</sup>して、いろいろな体験活動<sup>たいけんかつどう</sup>ができないか今後<sup>こんご</sup>も検討<sup>けんとう</sup>していきたくと思います。



## 【どんぐりの寄付について】

奈良市<sup>ならし</sup>に「鹿苑<sup>ろくえん</sup>」という施設<sup>しせつ</sup>があるのを知<sup>し</sup>っていますか。ここは「一般財団法人 奈良の鹿愛護会<sup>いっほんざいだんほうじん なら しかがいごかい</sup>」が運営<sup>うんえい</sup>する「奈良のシカ」の保護施設<sup>ほごしせつ</sup>です。春<sup>はる</sup>には出産<sup>しゅつさん</sup>をひかえたお母<sup>かあ</sup>さんシカを一時的<sup>いちじてき</sup>に保護<sup>ほご</sup>したり、病気<sup>びょうき</sup>やけがをしたシカを保護<sup>ほご</sup>して治療<sup>ちりょう</sup>したりしている施設<sup>しせつ</sup>です。

奈良市<sup>ならし</sup>では昔<sup>むかし</sup>からシカは神<sup>かみ</sup>のつかいとして大切に保護<sup>たいせつ</sup>されて来<sup>き</sup>ましたが、現代<sup>げんだい</sup>では農作物<sup>のうさくぶつ</sup>を食べたりする問題<sup>もんだい</sup>なども出てきているようです。様々<sup>さまざま</sup>な考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>がありますね。

今回は小学校<sup>こんかい</sup>や幼稚園<sup>しょうがっこう</sup>の敷地<sup>ようちえん</sup>や近辺<sup>しきち</sup>に多くのどんぐり<sup>きんべん</sup>が落ちており、鹿苑<sup>ろくえん</sup>のシカが食べるどんぐり<sup>た</sup>の寄付<sup>お</sup>を募<sup>おこ</sup>っていることを知り、寄付<sup>お</sup>を行うこととしました。原田<sup>はらだ</sup>さんが環境整備<sup>かんきょうせいび</sup>の中<sup>なか</sup>で集

めたどんぐりに、園児<sup>えんじ</sup>や1、2年生<sup>ねんせい</sup>が集めた

分<sup>ぶん</sup>を加<sup>くわ</sup>えて11/22に鹿苑<sup>ろくえん</sup>に届<sup>とど</sup>けました。梱包<sup>こんぼう</sup>したダンボール<sup>は</sup>に貼<sup>かみ</sup>った紙<sup>か</sup>に子どもたち<sup>か</sup>が描

いた絵<sup>え</sup>やひとことには、純粋<sup>じゆんすい</sup>な優<sup>やさ</sup>しさが表<sup>あらわ</sup>れていました。

